

# 2025年3月期第3四半期 決算説明資料

---

Kudan株式会社（東証グロース：4425）  
2025年2月14日

## 3Qまでの 業績

- **売上2.5億円、前期比+123%で伸長**
  - 注力する二領域のうち、デジタルツインが牽引、ロボティクスで遅延
  - 通期予想に向けて4Qでの積み上げを目指す
- **営業利益▲6.8億円、前期比▲0.8億円で推移**
  - ロボティクスの遅延を受けて、注力案件のリバランスを実施し、先行してコストが増加

## 成長戦略 の進捗

- **顧客製品化<sup>1</sup>は、件数が順調に拡大しており、刈り取りとしての売上も進捗**
  - 3Qまでの案件数は8件（前期比+166%）、製品関連売上<sup>2</sup>は1.8億円（前期比+900%）
- **ソリューション化<sup>3</sup>は、デジタルツイン案件を中心に拡大**
  - デジタルツイン案件は、公共中心から民間設備管理・製造向けへ拡大して順調に進捗

## 収益改善に 向けて

- **次世代ロボティクスの市場普及が長引くことから、短期売上押し上げのために注力案件のリバランス（案件構成の修正）を実施し、収益体質の改善を急ぐ**
  - デジタルツインや、短期での市場普及が期待できるロボティクスの有人補助へ注力拡大（例：AR向けロボットカメラ、有人フォークリフトの効率化・安全性強化）
  - ロボティクスの無人化は質の高い案件を取捨選択して継続

1. 当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースを決定する案件の転換点  
2. 当社技術・ソリューションを利用した実用化（製品販売や社内外のサービス運用）が可能な売上  
3. 当社のディープテック（深層技術）を直接採用する顧客層だけではなく、協業先との事業コーディネートを通して最終顧客向けソリューションを構築すること

- 売上高は前期比+123%で大幅拡大するも、予算比で遅れ。4Qの売上拡大で通期予算を目指す。
- 営業利益は予算比で下振れ。4Q売上での利益積み上げを目指すとともに、案件リバランスや製品関連売上の成長による収益構造の改善を急ぐ。

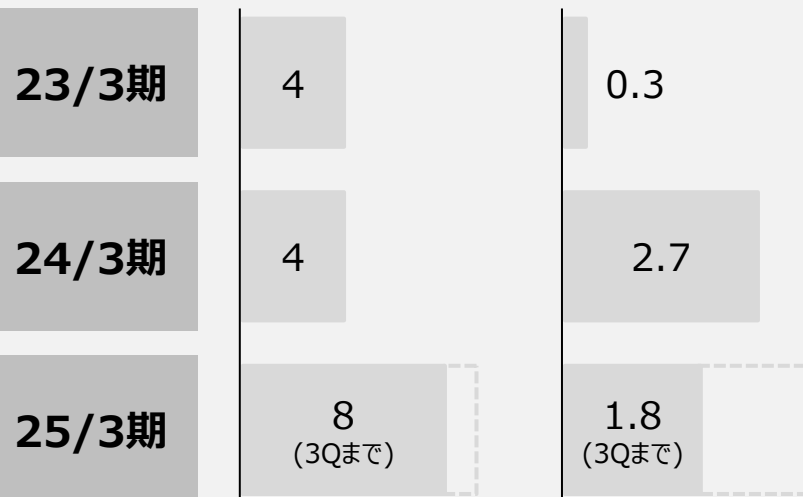
[百万円]	前期 (24/3)		当期 (25/3)		
	通期	3Q	通期予想	3Q	
売上高	490	112	700	250	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルツインが牽引</li> <li>・ 期末偏重傾向は例年通り、4Qに大型売上を見込む</li> </ul>
営業利益	△527	△598	△430	△687	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収益構造改善のための戦略修正に伴う、組織強化、補完技術の調達<sup>1</sup>によるコストの上振れ</li> </ul>
経常利益	△50	△409	-	△480	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業外収益としてUK政府の開発補助金46百万円、円安によるグループ内債権・債務の為替差益165百万円を計上</li> </ul>
純利益	△69	△419	-	△519	

# 顧客製品化は順調に進捗し、売上はデジタルツインが牽引

- 事業進捗の指標となる顧客製品化と製品関連売上は予想通りに進み、当社技術の実用化が拡大中
- 短期的には、デジタルツインの市場普及が先行して売上成長を牽引し、ロボティクスは遅れ

顧客製品化と製品関連売上は前期比で順調に伸長

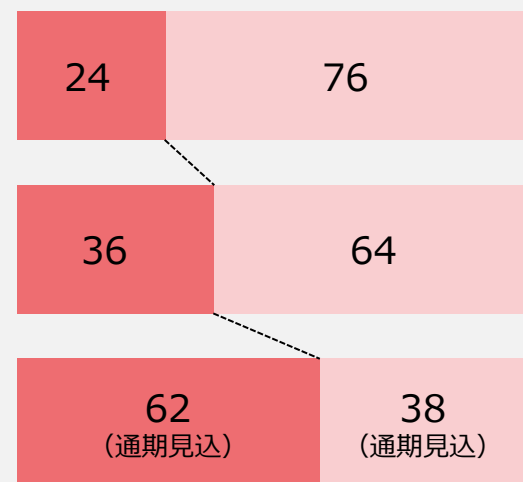
顧客製品化 [件]      製品関連売上 [億円]



案件あたりではデジタルツインの伸びが加速し、先行して売上を牽引

売上比率 [%]

デジタルツイン      ロボティクス



「案件あたりの製品関連売上<sup>1</sup>」はデジタルツインがロボティクスの1.7倍と先行中

# 収益改善に向けて案件をリバランスし、短期売上の成長を後押し

- 短期に市場拡大を見込むデジタルツインとロボティクスの有人補助は、案件数を拡大し、ソリューション化に注力
- 社会実装までに期間を要するロボティクスの無人化は、「質の高い案件」を取捨選択して継続

人工知覚技術の応用領域	ソリューション例	市場の特性	案件リバランスの実施	3Qハイライト案件
デジタルツイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Dスキャン</li> <li>空間・設備情報管理</li> <li>設計・計画・シミュレーション</li> <li>検査・メンテナンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発・実証・導入が早く、市場拡大が早期に実現見込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場拡大に合わせ案件数を拡大</li> <li>案件規模拡大のためソリューション化<sup>1</sup>に追加投資</li> </ul>	<p><b>A</b> 欧州産業向けアセットマネジメント</p>
ロボティクス 有人補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性強化</li> <li>効率化・高機能化</li> <li>特殊効果</li> </ul>			<p><b>B</b> AR向けカメラロボット (FOX Sports社)</p> <p><b>C</b> フォークリフト効率化・安全性強化</p>
無人化 <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完全自律走行</li> <li>完全自動運転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験運用から技術普及まで期間を要す<sup>2</sup></li> <li>大規模な潜在市場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケールを見込める「質の高い案件」に取捨選択して継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットタクシー</li> <li>産業用搬送車両</li> <li>鉄道用ドローン</li> </ul>

1. 当社のディープテック（深層技術）を直接採用する顧客層だけではなく、協業先との事業コーディネートを通して最終顧客向けソリューションを構築すること

2. 2D技術で実用可能な比較的難易度の低いロボット（配膳ロボットなど）の次の世代として、巨大市場への普及が見込まれている比較的難易度の高い無人化ロボティクス

# ハイライト案件 A：欧州産業向けアセットマネジメント

- 産業・物流設備向けへの需要を取り込み、欧州での大規模案件に向けて進捗<sup>1</sup>
- ソリューションの基幹技術となる次世代デジタルツイン技術をXGRIDS社と開発

## 「デジタル・アセット・マネジメント・ソリューション」

次世代デジタルツイン技術によるデータ生成

迅速な空間データ取得

3Dスキャナー



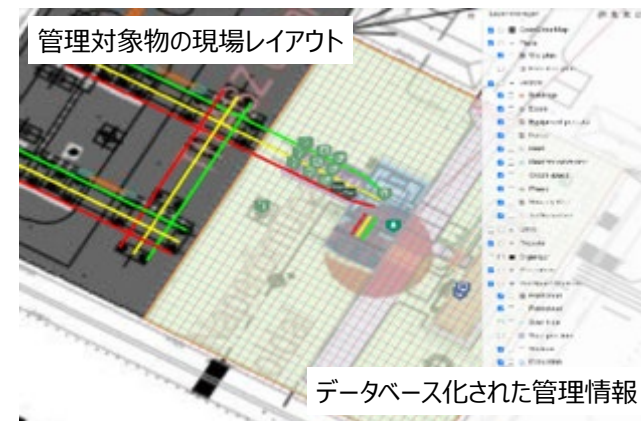
AIによる管理対象物の自動認識と登録

3Dデータ



データベース化と効率的な管理ツール

管理対象物の現場レイアウト



一元化する  
管理業務DX

設備台帳  
管理

図書管理

設備  
ビューア

部品在庫  
管理

保全計画/  
履歴管理

検索/集計/  
分析ツール

作業指示  
管理

作業工数  
管理

付加価値

データ生成効率：20倍

データ検索効率：5倍

業務遠隔化の実現

管理効率・設備稼働率の向上

1. 過去開示済みエネルギー設備向け案件は、公共施策の調整もあり遅延中であるものの、産業・物流設備向けの案件の立ち上がりが順調であるため、デジタルツイン案件トータルでは進捗ペースをほぼ維持

# ハイライト案件 **B** : AR向けロボットカメラ (FOX Sports社)

- スポーツ放送向けのロボットカメラ (有人操作) の位置認識に採用、革新的なAR映像による視聴体験を実現
- 高速カメラワークに追従可能な世界唯一の技術を認められ、世界最大規模イベント「Super Bowl」にて実用化

## 独自技術を有人操作ロボットの特殊効果に活用



- AR向けワイヤーロボットカメラにLiDARセンサを搭載し、当社技術によってカメラ位置を認識
- 従来では実現できなかった高速・広域・ダイナミックなカメラワークでの高精度の認識を実現

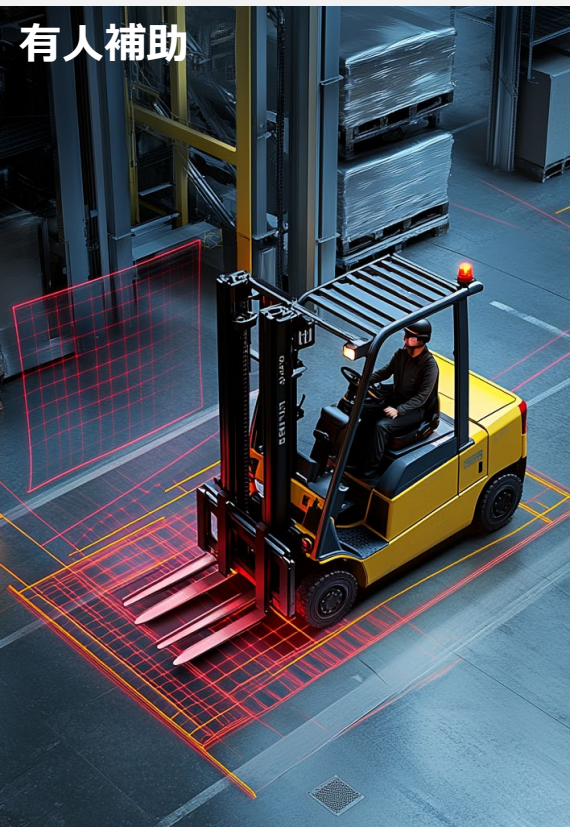
## 革新的な視聴体験とコンテンツ価値の向上を実現



- 迫力のあるAR映像を精緻でスムーズに生成
- 1.4億人視聴した「Super Bowl LIX」に採用
- 今後も大規模イベントでの実用化拡大を目指す

# ハイライト案件 **C** : フォークリフト効率化・安全性強化

- 現場導入の難易度が低く、早期の技術普及が見込める有人フォークリフト補助として運用効率化と安全性強化向けに注力を強化<sup>1</sup>、日本大手・欧州大手を中心として案件が拡大、短期収益化を目指す



## 運用効率化

- 作業空間内でのフォークリフトの運用軌道・動作のリアルタイム把握により、オペレーション全体の作業効率を向上

## 安全性強化

- フォークリフトの自己位置・環境状況・障害物を認識することで、事故発生を回避する運転支援を提供







## 完全無人化

- 効率的かつ安全なフォークリフト運用の自動化を実現し、省人化・無人化によってトータルコストを削減





## 会社紹介 : Kudanを知る「6つの視点」

-  人口知覚、それは人工知能と似て非なるもの
-  世界を変える、ロボティクスとデジタルツイン
-  産業を最深部から支える「超・ディープテック」
-  グローバル育ち、世界的な先鋭技術集団
-  大手が戦いづらい領域で固める非競争戦略
-  現在、Kudanの技術は世に出始めている

## 技術デモ動画

<https://www.youtube.com/@KudanLimited/videos>

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。

すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、現時点において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等 について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。



**Eyes to the all machines**

<https://www.kudan.io/>

<https://www.youtube.com/user/KudanLimited/featured>